

# GLOOBE での 3D カタログデータのご利用方法（仕上の設定）

本資料は、以下 2 点に焦点を当てた手順書となっております。

3D カタログから外壁へのデータ割り当て手順

GLOOBE 画面から 3D カタログデータのダウンロード手順

## 1. GLOOBE を起動し、任意の物件を立ち上げます。

建物モデルの作成に関しては、弊社 HP 掲載の手順書に記載しています。

[GLOOBE 2021 操作ガイド：プラン作成編](#)

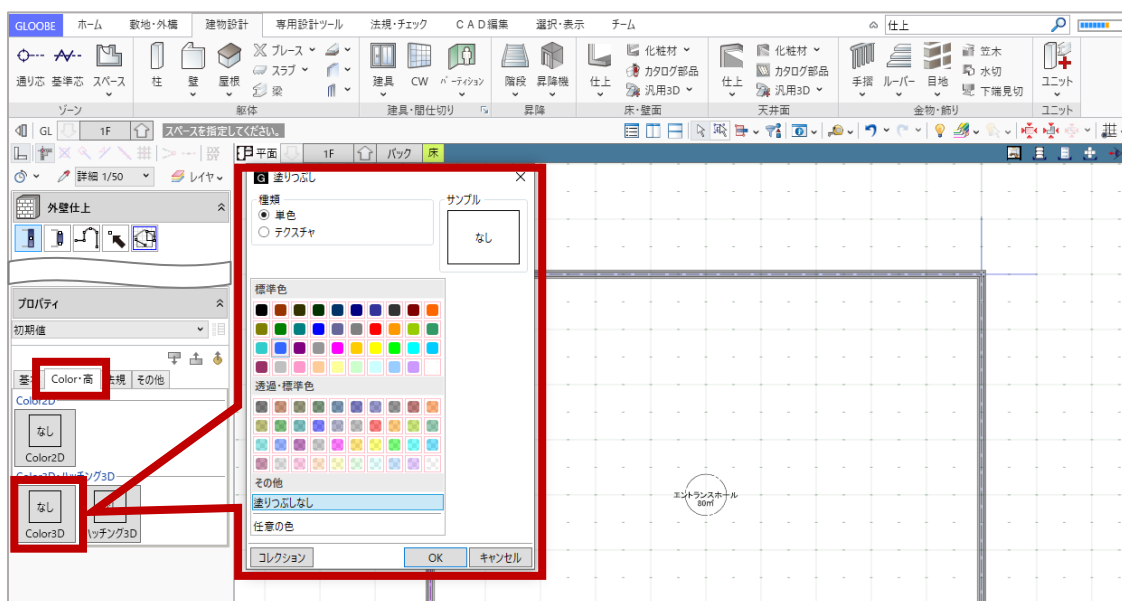
## 2. 仕上を入力します。

(1) 「建物設計」のタブより、任意の仕上げ種類を選択します。

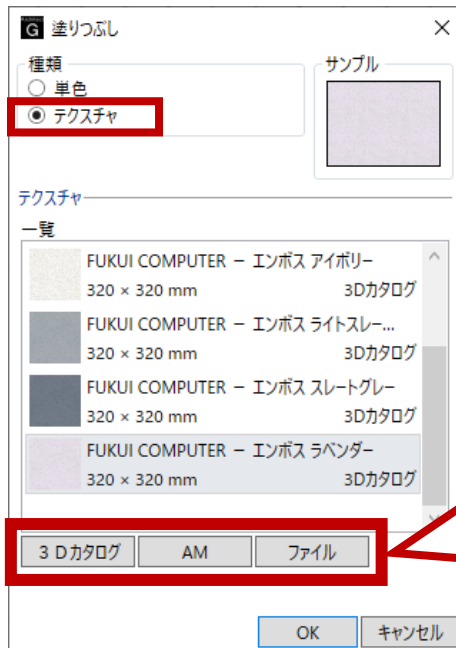


(2) 仕上げに使用する素材を設定します。

- 画面左側「Color・高」のタブをクリック後、「Color3D」をクリックし、設定画面を開きます。



(3) 種類：テクスチャを選択します。



**3Dカタログ**  
「3D カタログ」に登録の素材より選択して設定できます。

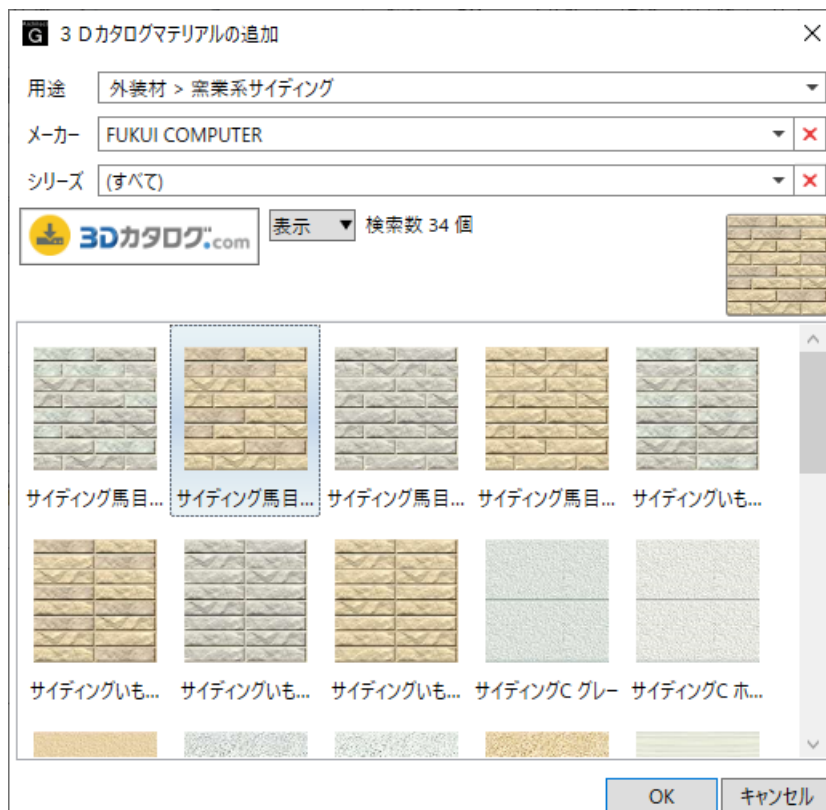
**AM**  
「Archi Master」に登録の素材より選択して設定できます。

**ファイル**  
任意の画像を自由選択して仕上げとして設定できます。

今回は、「3D カタログ」登録の素材を選択します。

**3Dカタログ** をクリックすると、選択画面が表示されます。

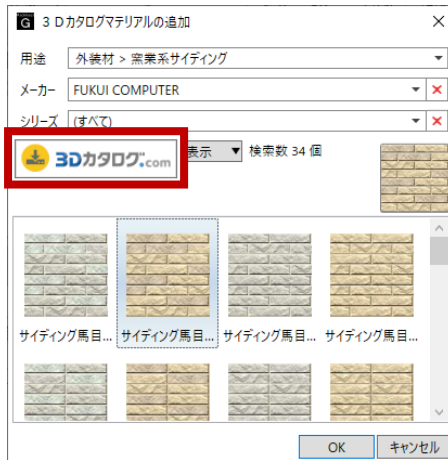
用途・メーカー・シリーズなどで絞り込み、任意の建材を選択します。



一覧に使用したい素材がない場合は、3D カタログから素材をダウンロードします。

## 【3D カタログから素材をダウンロードする方法】

- ① 設定画面の **3Dカタログ** をクリックして、選択画面を表示します。



- ② 選択画面内の **3Dカタログ.com** をクリックすると、3D カタログの建材ダウンロードサイトが表示されますので任意の素材を検索し、ダウンロードします。



### <アイコンの説明>



【ダウンロードボタン】 (建材をその場でダウンロードできます)

【ストックボタン】 (ダウンロードしたい建材をストックすることができます。

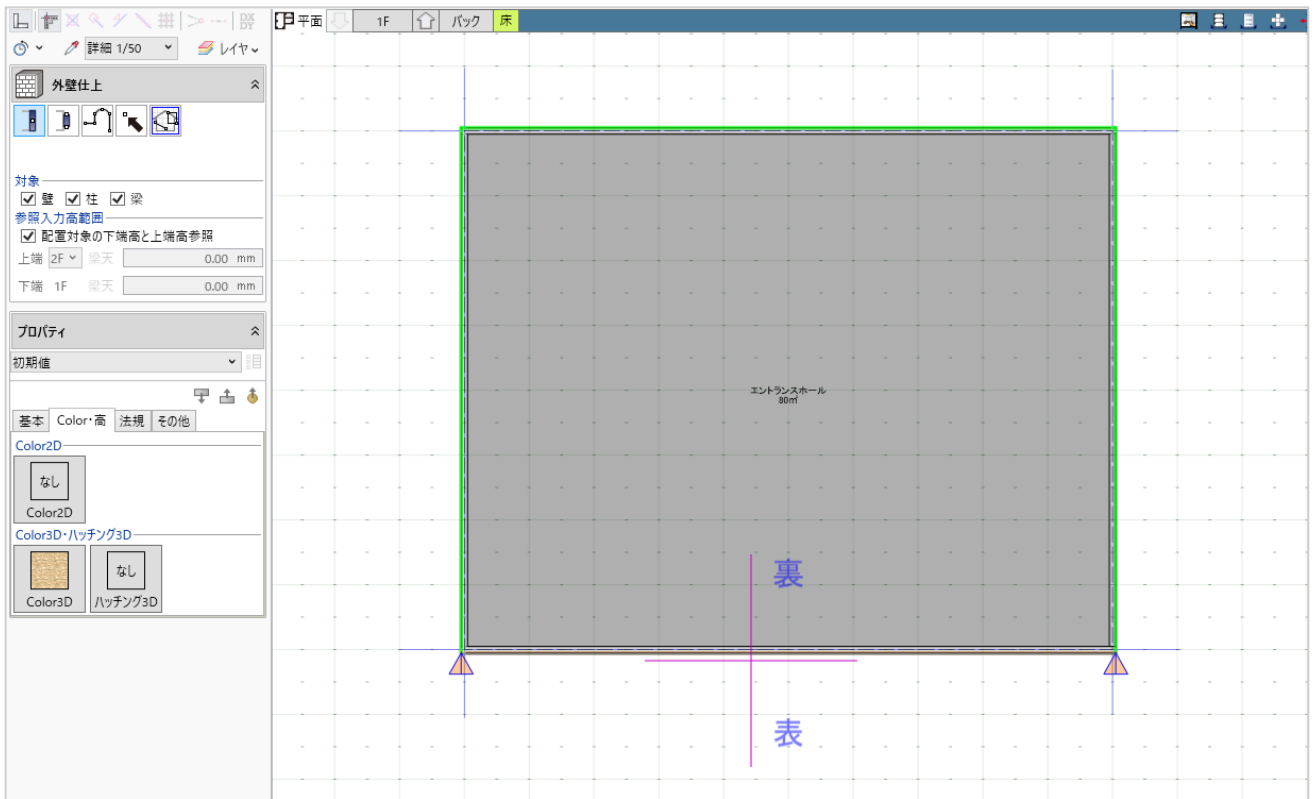
ストックすると、画面右上のストックマーク **ストック 0** にカウントされます。

ストックされた建材はこちらから一括ダウンロードができます。)

(4) 仕上げを入力する壁を選択します。

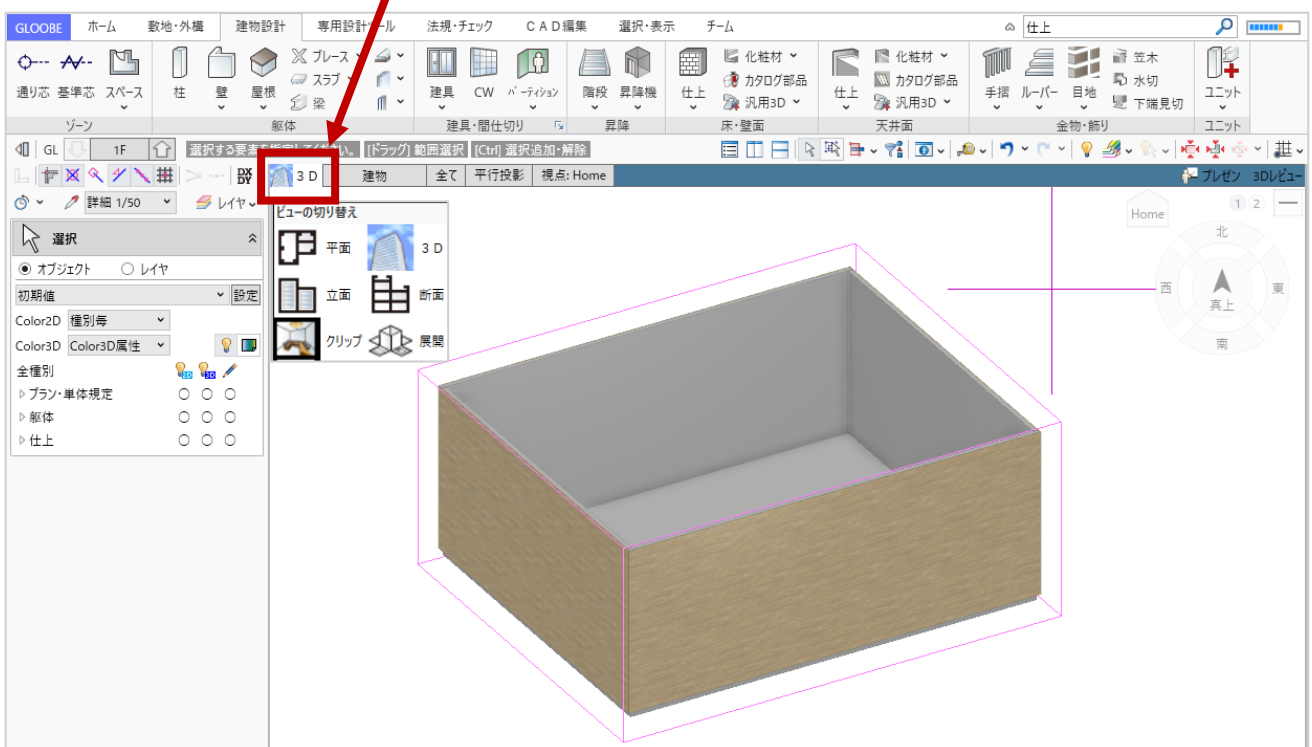
- ・仕上げ入力可能箇所が緑に表示されます。

任意の壁にカーソルを持っていくと、裏表が表示される場所でクリックすると、仕上げが入力されます。




▼3D ビューだとこのように表示されます。

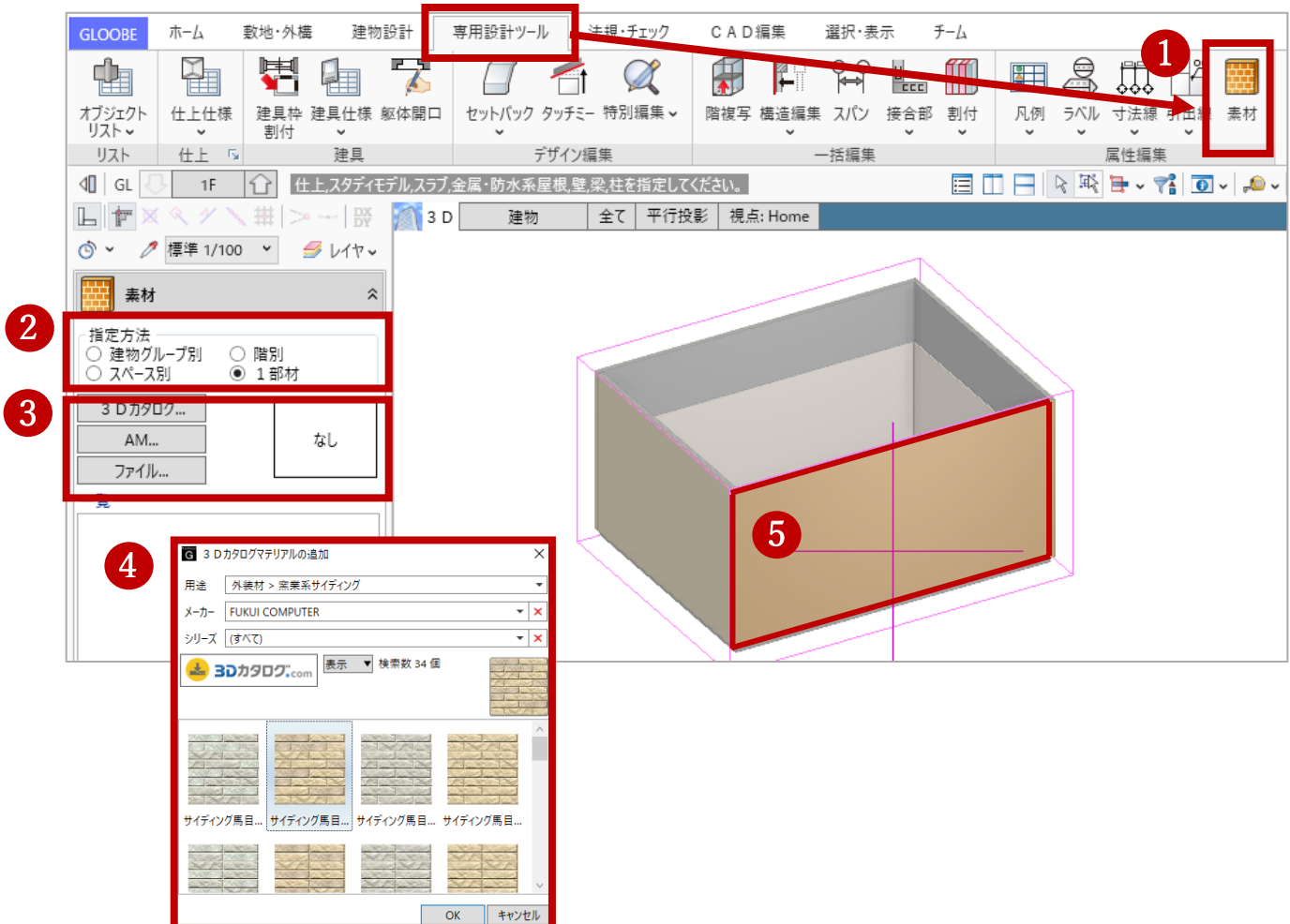
3D ビューへの切り替えは、「ビューの切り替え」をクリックして「3D」を選択します。



### 3. 素材の割り当て方法

#### <面にカタログ素材を割り当てる：専用設計ツールから>

- ① 「専用設計ツール」タブ内の「 素材」を選択します。
- ② 「指定方法」から素材を変更する方法（ここでは1部材）を選びます。
- ③ 「**3Dカタログ**」を選択し、選択画面を表示させます。
- ④ 選択画面から、任意の建材を選択します。
- ⑤ 素材を当てる部材をクリックします。（この時に素材が割り当たります。）
- ⑥ 続けて同じ素材を割り当てる場合は（5）を、  
他の素材を割り当てる場合は（3）～（5）を繰り返します。





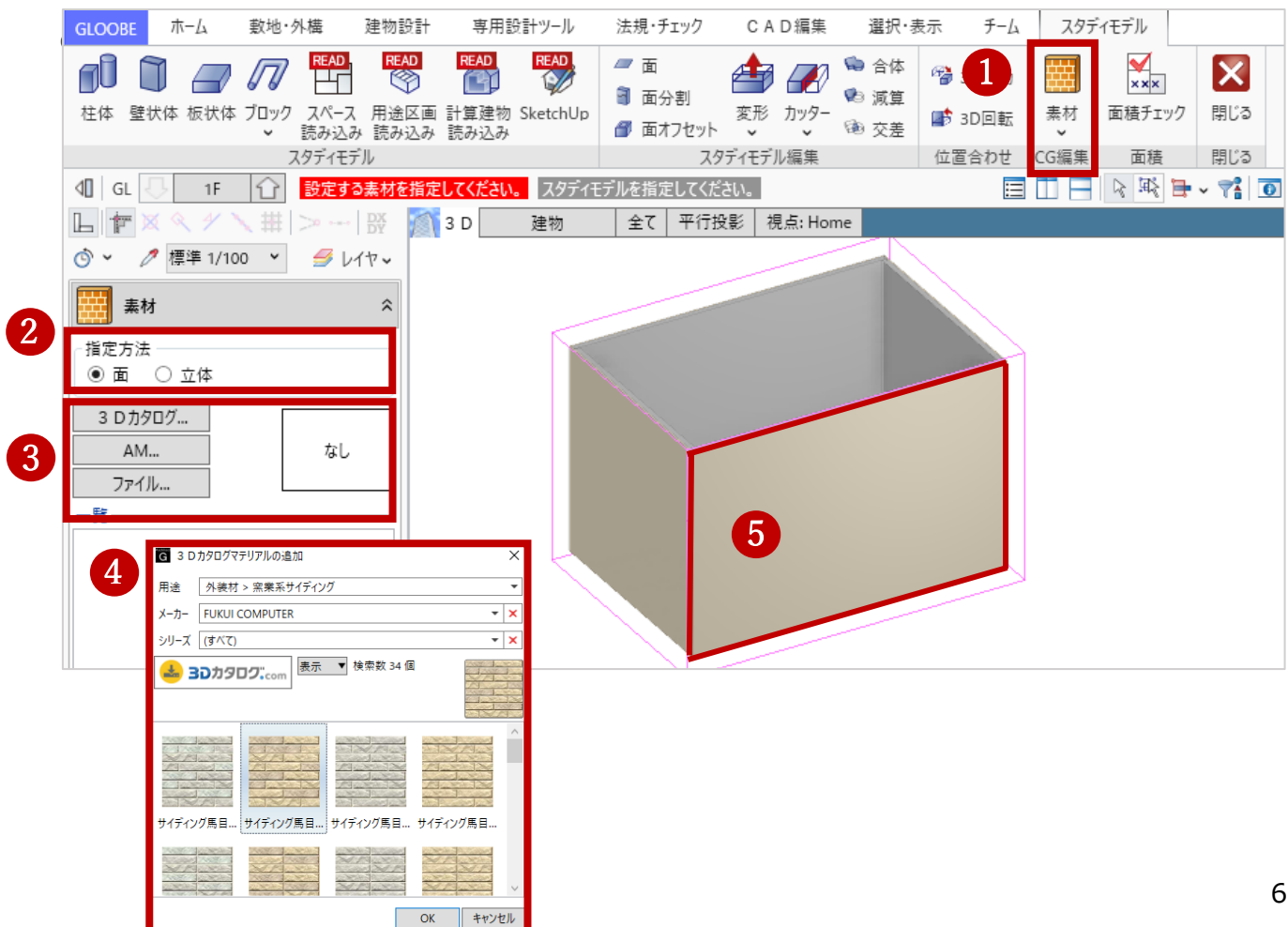
## 〈面にカタログ素材を割り当てる：スタディモデル・汎用オブジェクトから〉

※こちらの手順は、スタディモデル・汎用オブジェクトで作成・編集したオブジェクトのみ有効です。スタディモデルを例にして説明します。

「敷地・外構」タブ内の、「スタディモデル」を選択します。



- ① 「スタディモデル」タブ内の「 素材」を選択します。
- ② 「指定方法」から素材を変更する方法（ここでは面）を選びます。
- ③ 「 3Dカタログ」を選択し、選択画面を表示させます。
- ④ 選択画面から、任意の建材を選択します。
- ⑤ 素材を当てる面をクリックします。（この時に素材が割り当たります。）
- ⑥ 続けて同じ素材を割り当てる場合は (5) を、  
他の素材を割り当てる場合は (3) ~ (5) を繰り返します。



## <指定方法について>

各指定方法を選択した際の動きについては、下記をご確認ください。

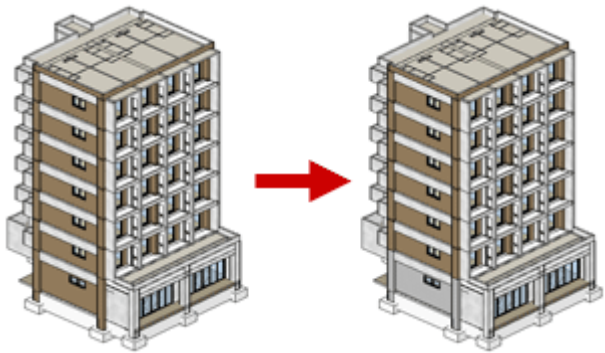
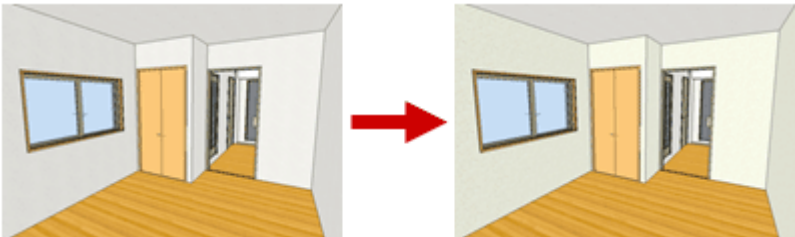
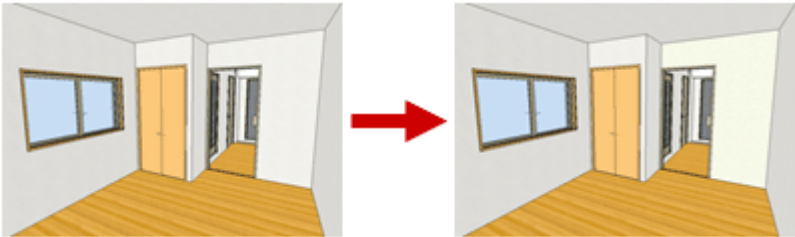


【スタディモデル・汎用オブジェクト】



【専用設計ツール】

スタディモデル・汎用オブジェクトの場合	
面	<p>指定する面だけを変更します。</p>
立体	<p>モデル全体の面をまとめて変更します。</p>
専用設計ツールの場合	
建物グループ別	<p>建物グループ内の同じオブジェクトを一括変更します。                      主に、建物全体の外壁仕上をまとめて変更するときに使用します。</p>

階別	<p>同一階の同じオブジェクトを一括変更します。 主に、各階の外壁仕上をまとめて変更するときに使用します。</p> 
スペース別	<p>スペース内の同じオブジェクトを一括変更します。 主に、部屋の内壁仕上をまとめて変更するときに使用します。</p> 
1 部材	<p>指定する面だけを変更します。</p> 

素材の割り当て方法に関しては、「GLOBE Architect ヘルプ」にも記載されております。

[GLOBE Architect ヘルプ - 素材 | スタディモデル \(fukuicompu.co.jp\)](http://fukuicompu.co.jp)